

事業概要票

事例NO. 64

事例キーワード

「白砂青松」、「松葉の堆肥化」、
「松林健全化ボランティア」

事業名		保安林改良事業	「白砂青松」、「松葉の堆肥化」、 「松林健全化ボランティア」
事業担当機関		由利地域振興局農林部森づくり推進課	
事業期間		H20～H22	
実施場所		にかほ市象潟町関字西大阪ほか	
事業概要	全体事業費	151百万円	
	工事概要	林床改良 A＝37.2ha 他	
	事業の目的	当該事業区域は、背後の人家等への飛砂を防止する飛砂防備保安林である。しかし、近年の土壌の肥沃化によりクロマツの病害虫に対する抵抗力が弱まるなど、保安林機能の低下が危惧されていた。そのため、林床改良を行いクロマツの菌根菌を活性化させることで病害虫への抵抗力を高め、保安林機能を高度に発揮する林分とすることを目的とした。	
環境配慮の内容	<ul style="list-style-type: none">全国的にも事例の少ない林床改良を行うことでクロマツと共生している菌根菌の発達に良好な環境を整え、病害虫に強いクロマツ林を形成するとともに、天然更新のしやすい環境を整備した。林床改良により剥ぎ取った松葉や腐葉土を緑化のための覆土等に利用した。事業終了後、良好な林内環境を維持するため、ボランティア活動として地域住民を募集し、落ち葉の掻き集めや雑草の除去を行っている。(平成24年度で5年目を迎える。)ボランティア活動で集めた松葉の堆肥化を目指し、試験的に利用している。クロマツと広葉樹の混交林はツタウルシや衛生害虫が多く繁殖し、人の入り込みが困難であるため、林床改良により保健機能を回復した。		
施工後の状況	<ul style="list-style-type: none">菌根菌が活性化している指標といわれているキノコが林内に発生している。ボランティア活動により林内環境が健全に保たれている。ボランティア活動を通じて「白砂青松」復活へ向けての地域住民の環境意識が高まっている。林内を散策する人が増えた。		

図面、写真、説明

着手前

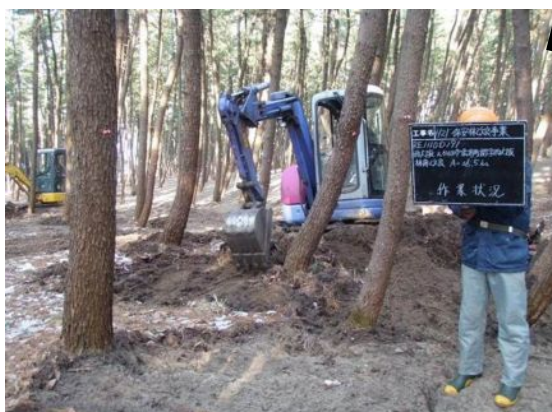


下層植生の繁茂

松葉堆積状況



10cm程度の堆積



松葉・腐葉土の剥ぎ取り



覆土等に活用

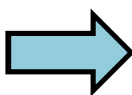
図面、写真、説明
林床改良施工後



マツの菌根菌が活性化
(キノコの発生)

白い砂地が見え、クロマツの健全な生育に適した環境である。

「白砂青松」の復活へ向けて、松林健全化ボランティア作業を実施。



ボランティアで集めた落ち葉は堆肥化し、農業高校等へ提供。